

令和元年度 第1回環境水理部会 議事録

日時： 令和元年6月21日(金) 11:50~12:50

場所： アソベの森・いわき荘

参加者：**部会長**：矢野(九州大) | **副部会長**：竹林(京都大) | **幹事**：大槻(土研)，新谷(首都大) | **委員**：赤松(山口大)，石塚(香川大)，乾(福工大)，入江(大阪大)，梅田(東北大)，大石(寒地土研)，片岡(東京理大)，川村(寒地土研)，工藤(いであ)，齋田(鹿児島大)，櫻井(ダム技術C)，重枝(九工大)，清水(日本工営)，鈴木(八千代エンジニアリング)，田井(九州大)，田代(名古屋大)，都築(リバフロ)，鶴田(建設技研)，中西(土研)，中山(神戸大)，東(国環研)，細川(港空研)，牧野(東北大)，横山(首都大)，吉川(北見工大)

(出席者下線，計 18/29 名。敬称略。)

オブザーバー：赤堀(愛知工大)，巖島(東工大)，井芹(中国温州大)，井上(港空研)，今村(電中研)，大久保(滋賀県立大)，大橋(日本工営)，小林(京都大)，鈴木(電中研)，角(京都大)，土屋(中央大)，鶴田(土研)，中山(国環研)，長尾(産総研)，二瓶(東理大)，古里(鹿児島大)，松尾(中電技術研)，宮本(芝浦工大)，三輪(鳥取大)，矢島(島根大)

(出席者下線，計 8/20 名。敬称略。)

【審議事項】

1. 次期部会員について(資料1)

・今次研究集会(6/20-21)以降，2ヵ年の任期にて，以下の執行部体制になることが紹介された(敬称略)。

部会長：矢野真一郎(九大院)，副部会長：竹林洋史(京大防災研)，

幹事：大槻順朗(土研共生C)，新谷哲也(首都大)

・矢野部会長が事前に実施したアンケートに基づき，以下の役員交代案が承認された。

オブザーバーから委員への変更(敬称略)：乾(福工大)，入江(大阪大)，片岡(東理大)，東(国環研)，清水(日本工営)，牧野(東北大)，中西(土研)

委員からオブザーバーへの変更(敬称略)：大橋(日本工営)，鈴木(電中研)，鶴田(土研)，中山(国環研)，長尾(産総研)，三輪(鳥取大)，矢島(島根大)

新規オブザーバー(敬称略)：巖島(東工大)，古里(鹿児島大)，松尾(中電技術研)

2. 次年度研究集会について

・11月の水工学講演会にて実施する次期部会において確定する方向で，今後，執行部を中心に検討していくこととなった。

3. 中国温州大学における研究集会について(資料2)

・井芹オブザーバーと矢野部会長との間で開催に向けた調整を行っている状況について

て、資料 2 を用いて紹介があり、次年度 9 月頃に 3 泊 4 日の工程で実施する方向で準備を進めることとなった。なお、日中両サイドから、各 5~6 名ずつ発表をして研究交流を行う予定。

【報告事項】

1. 部会員活動アンケート結果（資料 3）

- ・矢野部会長が事前に実施したアンケートに基づき、有志委員から寄せられた新規ワーキンググループに関する提案が紹介された。

2. 水工学委員会（R1.6.6 開催）報告（資料 4）

資料 4 に基づき、矢野部会長より以下について報告があった。

- ・令和 1-2 年度の委員会構成において、清水委員長（群馬大）、二瓶幹事長（東理大）、鼎編集幹事長（東工大）の執行部体制と初の女性委員 2 名（溝口（名城大）、川村（寒地土研））就任などが紹介された。

- ・今年度の夏季研修会は 9/9-10 に名工大、水シンポジウムは基礎水理部会担当で 8/22-23 に滋賀県で開催される予定。

- ・グローバル気候変動適応研究推進小委員会が 11/4 アゲールシンポを担当し、国交省河川計画課との懇談会「温暖化適応策創生・実装連携会」を設置するなど、各小委員会からの動向が紹介された。

- ・関連委員会の動向として、IAHR Japan Chapter（田中規委員（埼玉大））から、中川一先生（京大）の Co-opted Member 就任、2021 年スペイン・グラナダ、2023 年オーストリア・ウィーンでの Congress 実施、2020 年札幌、2022 年インド・チェンナイでの IAHR-APD 実施があったほか、土論編集委員会、河川懇談会、水理公式集編集小委員会などの状況が紹介された。

- ・今後のスケジュールとして、水工学講演会（本年 11/4-6@さいたま）は来年 11/4-6 に富山で、来年夏季研修会は 8 月に高知、来年水シンポは 11/12-13 に高崎で実施する予定が紹介された。水工学講演会は、当面 11 月初旬開催となる。

3. WG 活動報告

1) 閉鎖性水域 WG（主査：矢島→新谷）

- ・鶴田（建技）が副査を担当して WG の運営を補佐することが紹介された。

2) 適応 WG（主査：矢野→入江）（資料 5）

- ・過去の WG 実施状況と今後の展開について紹介があった。

- ・11/3（水工学講演会前日）に、東大渡部先生から d4PDF に関する研究紹介を予定している旨、紹介があった。

3) 樹林化・動的総合土砂管理 WG（主査：竹林）（資料 6）

- ・2/27-28 に、四万十・仁淀川を中心に現地見学会を実施した旨、紹介があった。

4. その他

- ・石塚委員から、河川部会との交流委員の後任委員を探している旨、紹介があった。候補者には個別に打診がある見込み。
- ・竹林副部長より、水工学論文集において、湖沼閉鎖性水域を対象として論文投稿数が減少している旨、紹介があり、関係者に周知して応募を推奨いただきたい旨、要請があった。
- ・角先生（オブザーバー）より、11月に応用生態工学会フィールドシンポジウムが耳川（宮崎）で開催される旨、情報提供があった。
- ・川村委員より、IAHR-APD@札幌 2020 について、7月下旬～9月末頃の予定で、アブストラクト募集する予定である旨、紹介があり、投稿要請があった。

以上